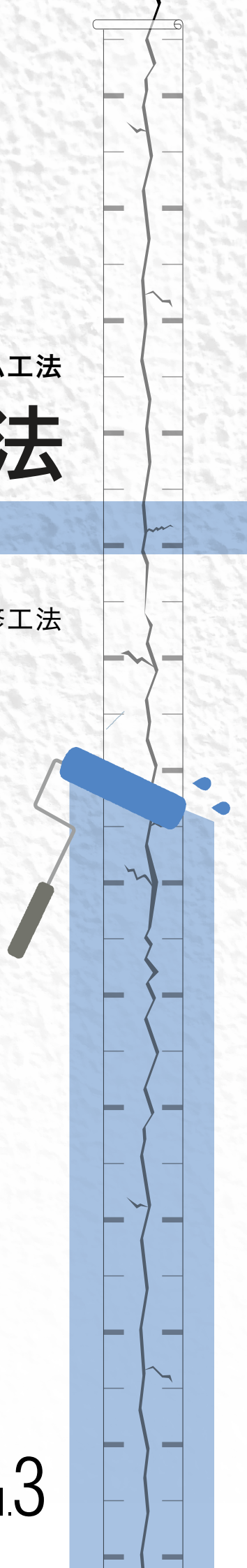
TAJIMA

ノンカットフィルム工法

A-NC工法

アスベスト ノン カット
Asbestos Non Cuts

粉塵・騒音を発生させない外壁ひび割れ補修工法



vol.3

ノンカットフィルム工法（特許 第6157303号）

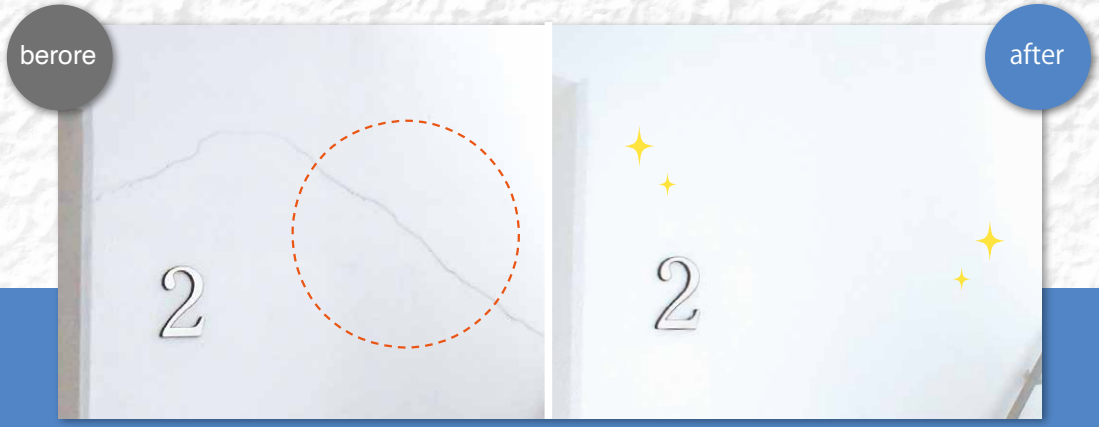
Asbestos Non Cuts A-NC工法

粉塵･騒音を発生させない外壁ひび割れ補修工法

ーアスベスト含有塗膜にも対応ー

従来、外壁のひび割れ補修では、当該箇所をディスクグラインダー等で削りシール材を充填するUカットシール工法が採用されてきました。この工法は、施工手間がかかり、粉塵・騒音の発生、ディスクグラインダーによる危険作業、補修跡が残りやすいなどの課題があります。また、塗材や下地調整材にアスベストが含まれている場合には、作業に制約が生じてくるため、取り扱いが厳しくなってきていることも課題の1つでした。

A-NC工法は切削作業を行わない、特殊フィルムによるテープ貼り施工のため、これらの懸念がなく、安全かつスピーディーに綺麗な外壁補修が可能となります。(2mm幅までのひび割れに適用可能)



特殊フィルムテープによるひび割れ補修

テープ施工後、ヒーティングガンで所定の熱を加えることで既存テクスチャーになじみ、密着してひび割れを閉塞。テープに柔軟性があることから、ひび割れ挙動にも追従します。

- 工期短縮
- 粉塵･騒音なし
- 補修跡が目立たない

Uカットシール工法（従来工法）

ノンカットフィルム工法「A-NC工法」

課題1 施工の手間・時間がかかる

・施工工程が5工程※＋パターン合わせ
※①Uカット ②清掃 ③プライマー塗布
④シーリング ⑤樹脂モルタル埋め戻し、平滑処理

・複数日数におよぶ工期

改善1 工期短縮・工程減

・施工工程が3工程でOK
（パターン合わせまで含めて完了！）

・1Day Finish!（1日で施工完了）

課題2 粉塵・騒音の発生

・ディスクグラインダーを使用
（危険作業・粉塵・騒音の発生）

・アスベストの対策が困難
（作業に制約）

改善2 粉塵・騒音なし

・ディスクグラインダー不要
（危険作業・粉塵・騒音が発生しない）

・アスベスト対策が不要

課題3 補修跡が目立つ

・切削するため補修跡が残りやすい

・経年後にシールが肉痩せすることも

補修跡が目立つ

経年後の肉痩せ

改善3 補修跡が目立たない

・特殊フィルムテープ＋熱で、既存になじみ、密着。そのため、補修跡が目立たず、肉痩せの心配もなし

目立たない（分からない）

ノンカットフィルム工法 A-NC工法 施工手順

補修～仕上げまで

A-NC工法の施工手順

施工面の下地清掃を行う。(高圧洗浄ができない場合は水拭き等で表面の汚れをしっかり拭き取る)

❶ A-NCプライマーE塗布

ひび割れに沿って幅300mm程度で塗布する。

❷A-NCテープ貼り ※特殊フィルムテープ

プライマーの乾燥後、ひび割れがテープ内に納まるよう、剥離紙を剥がしながら貼る。

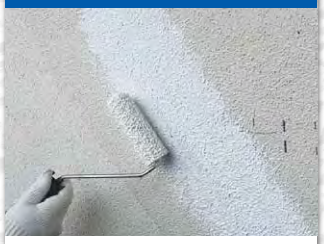
❸ヒーティングガンで熱を加え、密着

ヒーティングガンで熱を加え、テープを柔軟にした状態で、既存凹凸パターンに馴染むようローラー等で密着させる。

❹ A-NCコート塗布 ※緩衝層

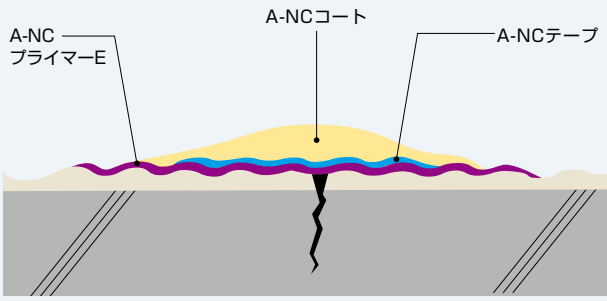
砂骨ローラーを用い、テープ上からプライマー塗布範囲にかけて塗布する(外側に向かい塗布量を徐々に少なくする)。

❺ 砂骨ローラーで馴染ませる



あらたにA-NCコートをつけずに、砂骨ローラーで端部を調整し馴染ませる。

【施工断面イメージ図】



仕上げ工事

POINT:
A-NC工法施工部と非施工部の段差がなくなるように施工する

❶ 配り塗り

外壁面に対し、必要に応じ各種シーラーを施工後、A-NCコート直上をよけ、周囲を薄く被せながら主材(微弾性フィラー、複層塗材、外壁用塗膜防水材など)を施工する(配り塗り)。

❷ 馴染ませる

あらたに材料をつけずに、砂骨ローラーでA-NCコート上も含めパターンをつなげていく。
主材を複層施工する場合には2層目主材も含め馴染ませるよう施工する。

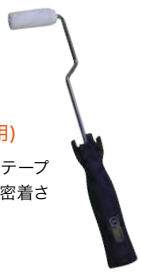
❸ 上塗り材塗布

上塗材を必要回数塗布して施工完了。

推　奨　施工工具

ヒーティングガン

テープに熱を加えて柔らかくし、密着しやすくするために使用。
883-13 白光(株)
※最高温度500℃、風量0.2m³/分(200L/分)程度のものをご使用ください。



転圧ローラー(緩やかな下地用)

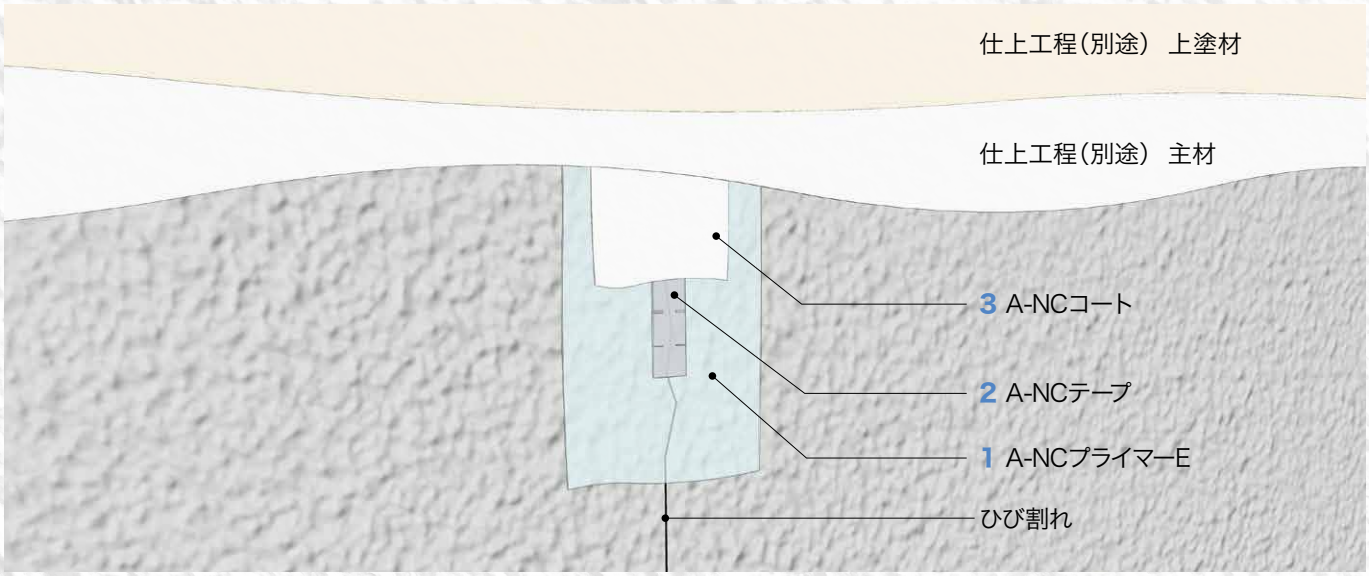
熱を加えたA-NCテープを緩やかな下地に密着させるために使用。
ウールローラー
(市販品)

転圧ローラー(粗面用)

熱を加えたA-NCテープを粗面の下地に密着させるために使用。
風神ローラー
カモ井加工紙(株)

ノンカットフィルム工法 A-NC工法 工事仕様

【可とう形改修塗材の場合】



(単位:/m)

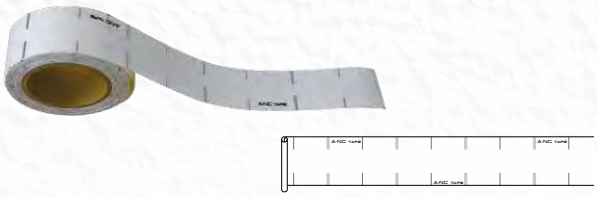
1	(プライマー処理)	A-NCプライマーE	0.02~0.03kg (塗布幅300mm程度)
2	(特殊フィルム貼り)	A-NCテープ	ー
3	(緩衝層塗布)	A-NCコート	0.1~0.15kg (塗布幅100~200mm程度)
ー	仕上工程 (別途)		

※ひび割れ幅が1.0mmを超える場合には、事前にひび割れ空隙に対してA-NCプライマーEを塗布の上、
A-NCコートの擦り込みを行い、硬化後にA-NC工法の施工を行う

ノンカットフィルム工法 A-NC工法 材料一覧

【A-NCプライマーE】

A-NCテープを下地に密着させるためのプライマー。
F☆☆☆☆



【A-NCテープ】

既存凹凸面にも密着する特殊フィルムテープ。透明なため、ひび割れ上にテープが貼られていることを目視確認可能です。
50mmピッチで目盛が印字されているため、ひび割れ補修m数の確認にも有効です。

【A-NCコート】

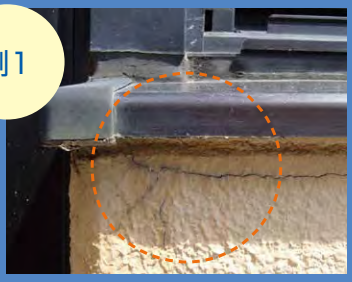
下地挙動に対応するA-NCテープ上に適合した緩衝層として使用。
F☆☆☆☆

品名	規格	備考
A-NCプライマーE	4kg/缶 ※ポリ容器	水性浸透形エポキシ樹脂プライマー (F☆☆☆☆)
A-NCテープ	幅50mm×18m/巻	特殊フィルムテープ(粘着層付き)
A-NCコート	18kg/缶	特殊アクリルゴムエマルション系樹脂 (F☆☆☆☆)

さまざまなひび割れ補修に

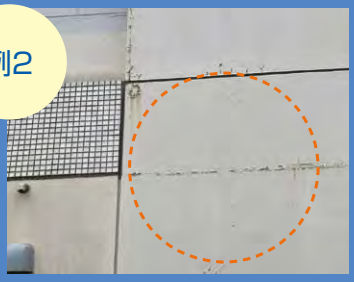
外壁面などに生じる様々なひび割れ補修に活用できます。アスベスト対策もさることながら、粉塵・騒音を生じさせないことから環境面に配慮した工事に適しています。既存テクスチャーに柔軟に密着するフィルムテープならではのひび割れ追従性を発揮します。

例1



サッシュモルタルのひび割れ

例2



目地成形が不足した部位

活用例❶｜外壁防水との組合せ

外壁面の漏水対策・耐久性向上

顕在化しているひび割れに対し「A-NC工法」。さらに仕上に柔軟性の高い外壁防水「リバンプコートRVC-A1」を組み合わせることで、外壁面の漏水対策、長寿命化に寄与します。

A-NC工法

外壁防水：リバンプコートRVC-A1

リバンプコートRVC-A1の詳細はカタログをご覧ください

デジタルカタログ ▼

活用例❷｜コンクリートブロック造の目地ひび割れ

意匠性の確保・再発防止

ブロック造の目地にはひび割れが入りやすく、塗装をしても再発するなど、意匠性が損なわれているケースが多くあります。
ノンカットフィルム工法「A-NC工法」で改善可能です。

【A-NC工法 注意事項】

工法の採用上の注意事項

〇既存テクスチャーの形状や凹凸程度により、パターン合わせが困難な場合があります。

〇A-NCテープがしっかり密着できない下地の場合には、施工はできません。(ex.凹凸の大きなリシン仕上げ、スタッコなど)

〇A-NC工法の施工後は、微弾性フィラー以上の弾性を有する塗材で仕上げてください。(硬質の材料で仕上げを行う場合、A-NC工法に追従できず割れが生じる可能性があります。)

〇ひび割れの分類(曲げ、せん断、収縮、温度、塩害、アルカリ骨材反応、凍害など)などは有識者と確認の上、判断をお願いいたします。

施工上の注意事項

〇施工前に必ず清掃を行い、下地を十分に乾燥させてください。高圧洗浄ができない場合には、水拭き等で施工面の汚れをしっかり拭き取ってください。

〇気温(施工面温度とも)5℃未満、湿度80%以上の場合には施工を避けてください(ヒーティングガンの熱風で施工部位を乾かしてから施工は可能ですが、雨が直接当たる部位については施工を避けてください)。

〇強風時や降雨、降雪、結露などの可能性がある場合は、施工を避けてください。

〇冬季の施工は結露や夜露の発生が考えられますので、午後3時以降の施工は避けてください。

〇使用前は材料を充分に撹拌し、内容物を均一にしてからご使用ください。

〇A-NCプライマーE、A-NCコートは無希釈でご使用ください。他の材料とは混ぜないでください。

〇既存塗膜がフッ素樹脂、光触媒仕上げの場合は、層間剥離を起こす可能性があるため、それぞれ適切な下地処理の上で施工を行ってください。

〇A-NCプライマーEは必ず塗布してください。省略した場合、A-NCテープやA-NCコートの付着性が確保されません。

〇ひび割れ幅が1.0mm以上の場合には、A-NCプライマーE塗布後、A-NCコートでひび割れに対し擦り込みを行い、乾燥してからA-NCテープの施工を行ってください。

〇A-NCプライマーE、A-NCコートの施工後は、硬化を確認した上で次工程へ進んでください。未硬化のうちに施工した場合、膨れやひび割れ、付着不良などの不具合を生じる可能性があります。

〇A-NCテープ内にひび割れが納まるように施工してください。

〇A-NCテープ貼付けの際には、空気を巻き込まないようにしてください。

〇A-NCテープ同士の重ね合わせはそのままで問題ありません(A-NCテープ上にプライマーは不要です)。

〇A-NCテープからA-NCコートまでは当日施工としてください。

〇A-NC工法の施工後の仕上げ塗料については、1週間以内に行ってください。

〇刷毛やローラーなど施工道具は、他の塗料との共用を避け、使用後は十分に水洗いを行ってください。

全国防水改修工事業団体連合会
http://www.bousuikaisyu.com

北海道防水改修事業センター
東北防水改修工事協同組合
関東防水管理事業協同組合
東海防水改修工事協同組合
北陸防水改修事業センター
関西防水管理事業協同組合
中国防水改修事業センター
九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社
https://tajima.jp

東京支店
〒101-8579 千代田区外神田4-14-1
TEL 03-6837-8888

大阪支店
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL 06-6443-0431

札幌営業所
〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6
TEL 011-221-4014

仙台営業所
〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35
TEL 022-261-3628

北関東営業所
〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8
TEL 048-641-5590

千葉営業所
〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1
TEL 043-244-3711

横浜営業所
〒231-0012 横浜市中区相生町6-113
TEL 045-651-5245

多摩営業所
〒190-0022 立川市錦町1-12-20
TEL 042-503-9111

金沢営業所
〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29
TEL 076-233-1030

名古屋営業所
〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16
TEL 052-220-0933

神戸営業所
〒650-0023 神戸市中央区栄町通6-1-17
TEL 078-330-6866

広島営業所
〒730-0029 広島市中区三川町2-10
TEL 082-545-7866

福岡営業所
〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35
TEL 092-724-8111

2022.09 ③ SN 8,000

カタログ掲載上のおことわり

・印刷の色味は現物と異なる場合があります。
・各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
・各仕様ページの工程図は、工程を分かりやすく示すことを目的としたイメージ図です。
　下地や材料の形状・寸法・色は実際と異なります。